

浜の情報：県央水産業普及指導センター
令和3年7月8日

西海市立大島東小学校で水産教室を実施しました。

長崎地区漁業士会では、令和3年7月8日（木）に西海市立大島東小学校の5年生26名を対象に、水産教室を開催しました。

今回の水産教室は、大島の漁業や漁業者などが行う藻場保全の活動などの講話と、漁具などの展示・観察を行い、地元水産業への関心を深めるとともに、海を取り巻く環境の今を一緒に考える、総合学習の一環として開催しました。

漁業士会の山下会長が、普段から使っている手カギなどの漁具やアワビの殻などを使い、実体験を交えながら漁法について説明しました。さらに、温暖化や磯焼けの現状、藻場を増やすための漁業者の活動、並びに最近問題になっているマイクロプラスチックなどについて講話を行い、児童の皆さんは山下会長の話を真剣に聞いていました。

また、普段なかなか見ることのない刺網やたこつぼ、かごなどの漁具に触れ、刺網などを使い、魚をどうやって獲るのか興味を持ち、楽しく学んでいました。

最後に、たくさんの児童から、漁業や赤潮などについて質問があり、大島の水産業を通して海の環境に興味を持ってもらえたように感じました。

なお、秋に2回目の開催を予定しており、養殖魚への餌やり体験やロープワークの実習、食育の講話などを実施するというので、児童たちは楽しみにしている様子でした。



講話の様子



釣・曳縄漁具の観察



刺網漁具の仕組み体験



集合写真